



花緑輝

令和2年度
学校報 12月号②
大仙市立
太田中学校

＜受験生への叱咤激励コーナー＞

「栄光は君たちに輝く」



◆職員室から音楽室や美術室に向かう東廊下が“アート・ストリート”です。美術科の後藤拓哉先生の発案で、廊下の天井にスポットライトを取り付け、美術館のように作品が目立つようにしました。

*スポットライト↓



三者面談も終わり、3年生はよし！という気持ちになってくれたことだと思います。受験は試練です。でも、考えてみてください。お父さんもお母さんお叔父さんお叔母さんもお兄さんお姉さんも、なんとか超えてきた壁です。輝望学年のあなたたちに出来ないわけがない。家の人も皆さんに遅く育ってほしいと願っています。そのためにも試練は必要です。冬空に負けないで頑張ってください。

☆佐藤貴先生（当時15歳）

「遅くまで勉強していた気がする。兄貴もちょうど大学入試だったので2人で机を並べていた。分からないところを教えてもらったりして。」

☆佐藤大先生（当時15歳）

「“ONE OK ROCK”の曲を聴きながら、4時頃まで勉強していた日があったことを覚えている。受験の時も頭を音楽が駆け巡って…。」（良い子は真似をしてはいけません。）

☆ゼイン先生（当時15歳）

「ニュージーランドでは高校入試はなかった。」（羨ましがってはいけません。）

☆後藤先生（当時15歳だったはず）

「窓を開けて空を見ると、何だか友達も頑張っている気がしてよし！と思った。カップ麺を夜食べると翌朝は腹が不愉快だった。」

R2年度県学習状況調査

12月3日に今年度の県学習状況調査を行いました。対象は1・2年生で、国語・数学・英語・理科・社会と質問紙からなる調査です。



ART STREET



◆その廊下を過ぎて、左に曲がった所の棚には1年生の作品がずらっと並べてありました。

人間関係とボキャブラリーの問題

現在「まずは雑巾がけ！」で掃除をしていますので、これはちょっと前の話です。掃除の時間に男子生徒がモップを押しながら廊下をだだだっとなっているのを目撃しました。条件反射的に指導を入れようとした一瞬前に、同じ班の女子生徒がこう声をかけたのです。「ゆっくりやった方がきれいになるよ。」そして、頭ごなしに叱られたら立場がなかったであろう「だだだっの男子」もスローダウン。

「相手の気持ちを和らげたり、怒りの矛先をそらしたりできる表現を知っていれば済むこと。人間関係の悩みは性格よりもボキャブラリーの問題。」とある脳科学者が述べていました。この女子生徒は私より遥かにすごいと感心しました。